

～ おいでませ、豊北町へ！ ～

【豊北地域】

【豊北地域の概要】

豊北町は、下関市の北西に位置し、人口は8,338人（令和2年12月末）、面積168.57㎡、東側は白滝山、南側は狗留孫山に、北側と西側は日本海に面した「青い空・光る海」に囲まれた風光明媚な町です。イカやワカメ、サザエ・ウニなどの海産物、梨やイチゴといった農産物のほか、北部に流れる粟野川で採れる青のりなど自然の恵みも豊富です。



観光面では、平成12年11月に開通した角島大橋が代表的な観光スポットとなっており、コバルトブルーの海の上を角島に向かって真っすぐに伸びる景観は世界の絶景に選ばれたこともあります。角島の西端にある角島灯台は、日本に3基しかない石造りの灯台で令和2年12月に国の重要文化財に指定されました。

また町内には、しおかぜの里や道の駅北浦街道豊北など、観光客が足をとめる休憩スポットもあり、年間100万人を超す観光客をお迎えしている県下有数の観光地です。



道の駅「北浦街道 豊北」

2018年「旅好きが選ぶ！道の駅ランキング」全国1位



下関つくの温泉（ホテル西長門リゾート内）

透き通るような海と抜けるような空をどこまでも堪能できる展望露天風呂

